

会 議 議 事 録

1	会議名	令和4年度 第1回長岡市図書館協議会
2	開催日時	令和4年7月26日（火曜日） 午後2時から午後4時まで
3	開催場所	長岡市立中央図書館 2階 美術センター
4	出席者名	協議会委員 齋藤委員、大塚委員、渡邊委員、丸田委員 遠藤委員、中村委員、三浦委員、藤島委員 事務局 安達教育部長、梅沢館長、ミライエ長岡開設準備室松尾課長 中村館長補佐、馬場庶務係長、松矢奉仕係長 田中文書資料室長、安達主査 指定管理者：梶原統括責任者、蕪澤業務チーフ
5	欠席者名	佐藤委員、淵本委員
6	議題	(1) 正副委員長の選出 (2) 報告事項 ①令和3年度長岡市立図書館の活動評価について ②令和4年度長岡市立図書館の運営方針について ③「米百俵プレイス ミライエ長岡」について (3) 協議事項 令和4年度長岡市図書館の活動評価（案）について
7	審議結果の概要	議題(1)について 渡邊誠介委員を委員長に、淵本紀子委員を副委員長に選出した。 議題(2)、議題(3)について 事務局提案のとおり決定した。

8 審議の内容	
事務局	(1) 正副委員長の選出 これまでの経緯を理解されている渡邊誠介委員を委員長を、淵本委員を副委員長をお願いしたい。
一同	異議なし、賛成の声あり。
事務局	それでは委員長は渡邊誠介委員、副委員長は淵本委員に決定する。
事務局	(2) 報告事項 ①令和3年度長岡市立図書館活動評価について (資料2により説明) 主な質問・意見は次のとおり
委員	6ページの「I 基本評価について」の「大活字本の所蔵冊数」及び「新規購入冊数の割合」の評価が、昨年度末段階のA見込みからBに変更になっている。やむを得ない事情などの特殊要因は考慮されないか。
事務局	年度当初に設定した評価ルールに基づいて評価している。
委員	評価ルールに基づいての判断なのでやむを得ない。了解した。
委員	6ページの「I 基本評価について」の「インターネットアクセス件数」の伸び率が非常に大きい理由は何か。
事務局	インターネットアクセス件数について国別で分析すると、全体の約半分が日本国内からのアクセスであり、さらにその約半分が長岡市からのものである。海外からのアクセスが多い理由は不明だが、セキュリティ対策は万全を期している。これらのアクセスが本当に図書館ユーザーのような当館が望んでいるアクセスかどうか非常に懐疑的である。
委員	「インターネットアクセス件数」について、令和2年度以前はどうだったか。
事務局	令和2年度以前は図書館ホームページへの海外からのアクセスは多くなかった。

事務局	<p>②令和4年度長岡市立図書館の運営方針について (資料3により説明) 質問・意見等なし</p>
事務局	<p>③「米百俵プレイス ミライエ長岡」について (資料4により説明) 主な質問・意見は次のとおり</p>
委員	<p>読みたい本がピンポイントで見つかるとはどういうことか。分類別に整理されることとは別のイメージか。</p>
事務局	<p>ミライエ独自のテーマによる選書に基づいて本を並べる。また、ピンポイントで本を探す場合は検索機で探すことができる。</p>
委員長	<p>まちなか図書館では、I Cタグによる書籍の管理を新たに導入する。</p>
委員	<p>資料中に「直感的に伝わりやすいテーマ別の本棚でわくわくする」とあるが、「わくわくする」について、具体的なイメージはあるか。</p>
事務局	<p>自分でも気がついていない潜在的な課題や悩みに気がつくことができ、解決できる場をイメージしている。先進地視察をした際に私自身が実体験として感じたところである。</p>
委員	<p>ターゲットはビジネスパーソン層や大人であって子どもではないのか。</p>
事務局	<p>ターゲットとしては小学生以上の幅広い世代を想定している。</p>
委員	<p>データベースはどのようなものを設置する予定か。</p>
事務局	<p>一般的な新聞データベースは通常の図書館等でもあるが、まちなか図書館には、例えば日経BPが提供するようなサービスを活用したり、より専門的なデータベースも多く取り揃える予定である。</p>
委員	<p>現在、互尊文庫にある本はどうなるのか？</p>

事務局	互尊文庫には現在約5万7千冊あるが、そのうち、5千冊をまちなか図書館に移す予定である。
委員	新潟市の同様の施設では、学生が勉強などを目的に長居しており別の方が使用できないといった課題がある。長居するお客様に対して、まちなか図書館ではどのような対策を考えているか。
事務局	順番に使ってもらえるよう、例えば、使用時間制限を設けることや、事前予約システムを導入することなどが考えられる。
委員	人の流れを作ることが目的の一つであれば、他の施設の事例から、なかなか難しい印象を受ける。
事務局	運用でカバーしていきたい。人の流れについては、図書館部分を含めた建物全体で検討したい。
委員	駐車場使用についてどのように考えているか。
事務局	アオーレ長岡等と同様の方法を想定している。米百俵プレイスには行政機能も入るため、行政手続きに来られた方には駐車場無料処理をする。
委員	図書館の利用者は無料にならないか。
事務局	駐車場料金の負担は誰がするのかという問題となる。公共交通機関を使っていただくとか、また、まちなか商店街を合わせて使用してもらうことで、回遊性を高めることと関連づけて検討しているが、現段階ではアオーレ長岡等と同様の方法を想定している。
委員	米百俵プレイスは、ラボ、サロンなど図書館以外の機能が入った複合施設であり、従来の図書館とのすみ分けをもう一度整理する必要があるのではないか。設計者や担当の思いを丁寧に説明して市民に理解を求める必要がある。
委員	互尊文庫の郷土資料はまちなか図書館に入るか。
事務局	郷土資料を多数有する文書資料室は別施設に移転する。互尊文庫の郷土資料の一部はまちなか図書館に移す予定である。

事務局	<p>(3) 協議事項</p> <p>令和4年度長岡市図書館の活動評価(案)について (資料5、5-1、6により説明)</p> <p>主な質問・意見は次のとおり</p>
委員	<p>令和3年度の「インターネットアクセス件数」は異常値であり、なぜ、そのようなアクセスがあったのかを分析した方が良い。今年度、「インターネットアクセス件数」を評価項目から外すことは妥当な判断と考える。</p>
委員長	<p>「個人貸出冊数」について、2%ではなく1%増加を目標とした意図は何か。</p>
事務局	<p>1%であれば図書館としての努力、政策次第で達成できる数値だと考えたからである。2%以上となると、図書館としての取組だけでは困難であり、外的要因が必要になると考える。</p>
委員	<p>「窓口対応満足度」は満足度100%を目指すものだと思うが、目標値が低いのではないか。</p>
事務局	<p>今回の目標値は低くないと考えている。アンケート等でいただいた利用者の声にしっかり対応することでさらに満足度を高めていきたい。</p>
委員	<p>「新規購入冊数の割合」は、評価項目からなくなるのか。</p>
事務局	<p>項目自体は残し参考数値として記載するが、目標値は設定しない。</p>
委員	<p>利用者アンケート数の母数が少ないのではないか。紙やホームページ以外に新たなアンケートを集計する予定はないか。</p>
事務局	<p>新たにアンケートを行う予定はない。図書館への市民の声としては、「市長への手紙」もある。</p>
委員長	<p>利用者アンケートからはどのような声があるか。</p>
事務局	<p>開館を早く、閉館を遅くしてほしい等、対応が困難なものがある。</p>

委員長	アンケートの声に対しては、対応できるもの、できないものがあると思うが、よりよい図書館運営のために役立ててほしい。
9 会議資料 別添のとおり	